サンワ規格サイン

取扱説明書

ESA3250	250空満パーキングα
ESA4250	250空満パーキングα LEDシングル
ESA5250	250空満パーキングα LEDダブル
ESA3303	303空満パーキングα
ESA4303	303空満パーキングα LEDシングル
ESA5303	303空満パーキングα LEDダブル
ESA3960	960角 空満パーキングα
ESA4960	960角 空満パーキングα LEDシングル
ESA5960	960角 空満パーキングα LEDダブル

この度は当社の商品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、LED空満サインの取付け方と使用上の注意事項について記載しております。
正しく安全な場所に設置して、安心してご使用頂くために、本書をご熟読いただき充分なご理解をされた上でご使用下さい。
また、説明書に記載された注意事項は必ずお守り下さい。
注意事項を守らずに使用して事故が発生いたしましても当社では責任を負いかねます。
不明な点がある場合は、取扱店又は当社までお問合せ下さい。

説明内容

Page

1 必ず守っていただきたい注意点 …… 1
2 製品仕様 …… 2
3 各部名称 …… 3～5
4 LED表示内容について …… 6
5 看板から出ている配線について …… 6
6 切替信号線について …… 6
7 看板の取付に際しての注意 …… 7
8 <参考>基礎概略図 …… 7
9 壁面への取付について-250空満パーキングα …… 8
10 角･丸ポールへの取付について-250空満パーキングα …… 9
11 看板の取付について-303空満パーキングα …… 10
12 看板の取付について-960角 空満パーキングα …… 11
13 面板と蛍光灯の交換について …… 12～13
14 減光機能をお使いになるには …… 14
15 こんなときは･･･トラブルシューティング …… 巻末

1 必ず守っていただきたい注意点

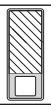
この取扱説明書に記載された注意事項は、安全に関する重要な内容のものです。
人身やその他の財産への被害を防止するために、次のような絵表示を記載しています。
下記の内容を良くご理解の上、取扱説明書をお読み下さい。
また、設置後も安全維持のためメンテナンスが必要ですので、本説明書をすぐに
取出せる場所に保管し、ご活用下さい。

警告表示とその意味

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷を負う危険性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、けがをしたり商品を破損してしまいます。
禁止	やってはいけないことです。
強制	必ず守っていただくことです。
確認	必ず行っていただくことです。

2 製品仕様

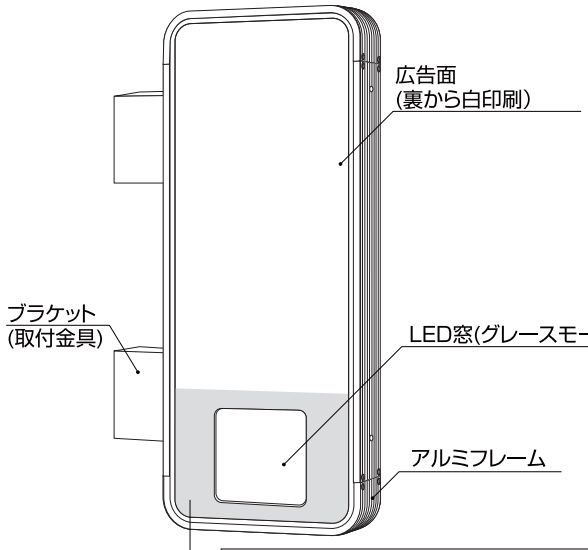
⚠ 警告	
⚠ 注意	本品の面板は白部分の広告面を含め、裏面より印刷を施しております。 広告面にマーキングシート等で意匠加工をされる際は、光漏れの原因ともなりかねませんので 面板の裏面にキズ等がつかないよう、有機溶剤等が付着しないようにお取り扱いにご留意下さい。
禁止	本品のLED部分は精密部品を用いておりますので、絶対に改造等を行わないで下さい。
禁止	LED照明仕様(ESA4000番台･ESA5000番台)の照明用LEDは昼間点灯させないでください。 看板内の温度上昇に伴い、LED照明の故障(オーバーヒート)につながる恐れがあります。

品名	250空満パーキングα	303空満パーキングα	960角 空満パーキングα
本体サイズ(mm)	W610×H1500×D150×R80	W900×H900×D150×R80	W960×H960×D150
LED窓	アクリルブルースモーク	アクリルブルースモーク	アクリル透明
広告面	アクリル2.0　成形板 (バックプリント)グレー･白	アクリル3.0　成形板 (バックプリント)グレー･白	アクリル3.0　成形板 (バックプリント)黒･白
原稿サイズ	W528×H1030×R50 有効広告面は▨部分 (グレー部は内照しません) 	W812×H812×R50 有効広告面は▨部分 (グレー部は内照しません) 	W915×H915 有効広告面は▨部分 (黒部分は内照しません)
フレーム	アルミ押出型材	アルミ押出型材	アルミ押出型材(開閉式)
カラー	シルバー(アルマイト仕上)	シルバー(アルマイト仕上)	シルバー(アルマイト仕上)
電装	ESA3250⇒FL32W×2(3波長) ESA4250⇒LED10球 ESA5250⇒LED20球	ESA3303⇒FL32W×2+FCL30W×1(3波長) ESA4303⇒LED12球 ESA5303⇒LED24球	ESA3960⇒FL32W×2+FCL30W×1(3波長) ESA4960⇒LED12球 ESA5960⇒LED24球
LEDパネル	320角　空⇒126dots 満⇒113dots	320角　空⇒126dots 満⇒113dots	320角　空⇒126dots 満⇒113dots
空満 LED消費電力	9.6W(Max)	9.6W(Max)	9.6W(Max)
輝度	4,500cd/㎡(ピュアグリーン) 2,000cd/㎡(レッド) 4,000cd/㎡(ホワイト)	4,500cd/㎡(ピュアグリーン) 2,000cd/㎡(レッド) 4,000cd/㎡(ホワイト)	4,500cd/㎡(ピュアグリーン) 2,000cd/㎡(レッド) 4,000cd/㎡(ホワイト)
輝度半値角	2θ=100°(水平方向:緑･赤) 2θ=60°（水平方向:白)	2θ=100°(水平方向:緑･赤) 2θ=60°（水平方向:白)	2θ=100°(水平方向:緑･赤) 2θ=60°（水平方向:白)
重量	23.0kg	26.0kg	28.0kg

3 各部名称

※本製品のブラケット(取付金具)は別売りです。
お取り付け用途に合った取付金具をお選び下さい。

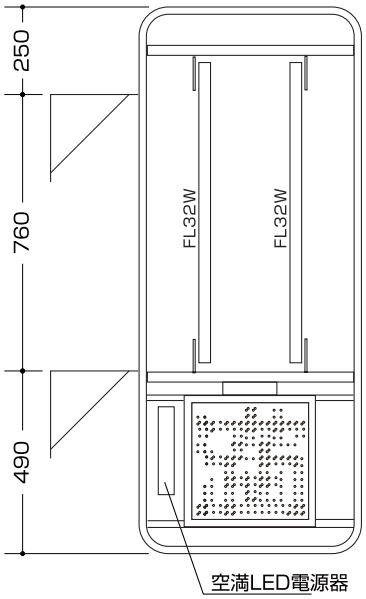
250空満パーキングα/ESA3250･ESA4250･ESA5250



⚠ 注意 面板の灰色部分は、夜間照明が入った時には面板が光りません。
特に意匠を灰色部分までベタ貼りでお考えの際はご注意下さい。
日中消灯時は白色に見えます。

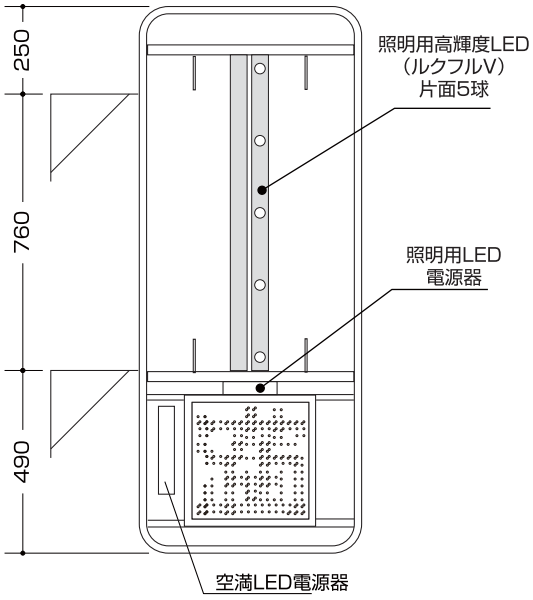
ESA3250
(蛍光灯照明仕様)

内部展開図



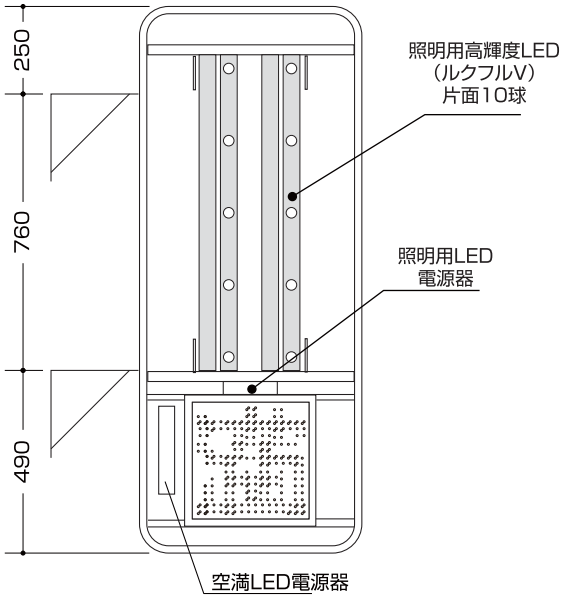
ESA4250
(LEDシングル照明仕様)

内部展開図



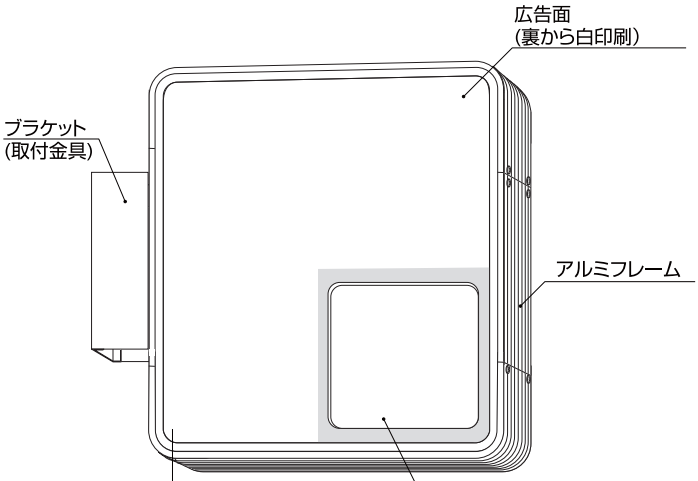
ESA5250
(LEDダブル照明仕様)

内部展開図



※本製品のブラケット(取付金具)は別売りです。
お取り付け用途に合った取付金具をお選び下さい。

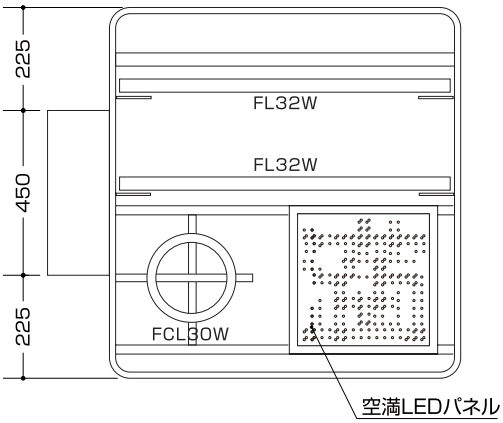
303空満パーキングα/ESA3303･ESA4303･ESA5303



⚠注意 面板の灰色部分は、夜間照明が入った時には面板が光りません。
特に意匠を灰色部分までベタ貼りでお考えの際はご注意下さい。
日中消灯時は白色に見えます。

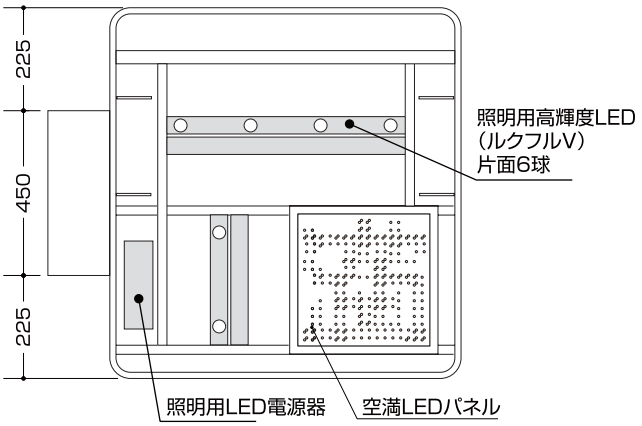
ESA3303
(蛍光灯照明仕様)

内部展開図



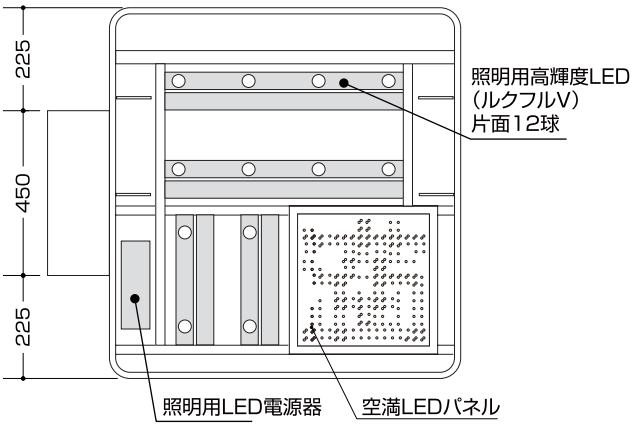
ESA4303
(LEDシングル照明仕様)

内部展開図

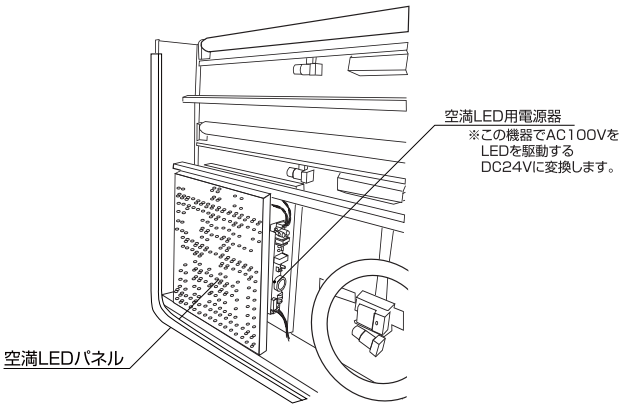


ESA5303
(LEDダブル照明仕様)

内部展開図

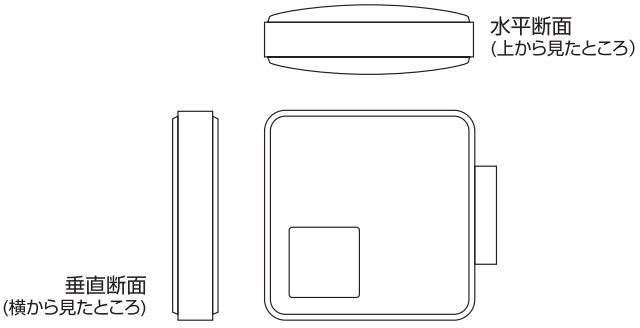


※空満LED電源器の位置



《面板の挿入方向について》

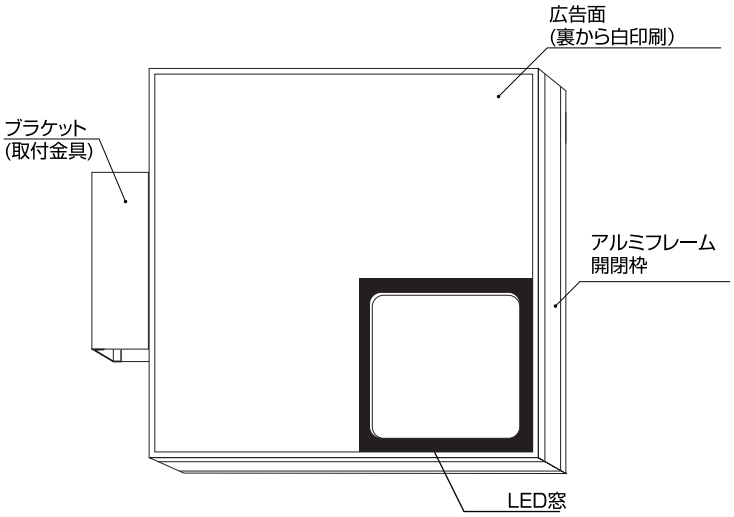
⚠注意 《面板の挿入方向について》
面板は水平方向にRがついています。
意匠加工される際は面板の天地方向にご注意下さい。
(面板はタテ・ヨコのカット寸法が同一なので
特にご注意下さい。)



3 各部名称（つづき）

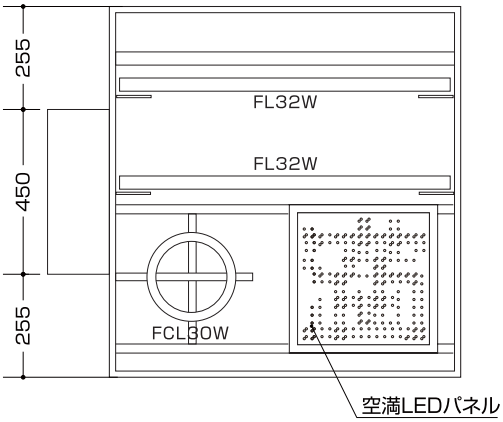
※本製品のブラケット(取付金具)は別売りです。
お取り付け用途に合った取付金具をお選び下さい。

960角 空満パーキングα/ESA3960･ESA4960･ESA5960



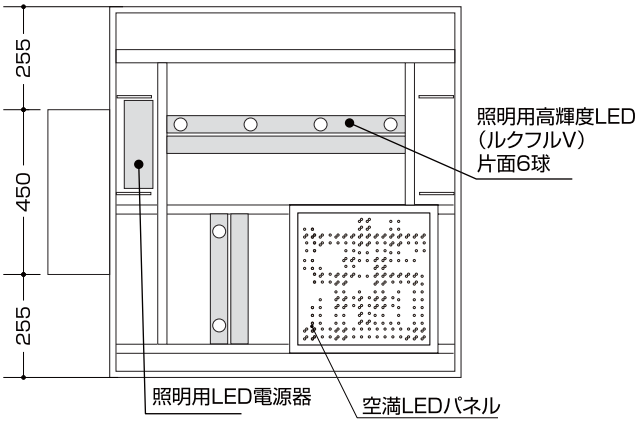
ESA3960
（蛍光灯照明仕様）

内部展開図



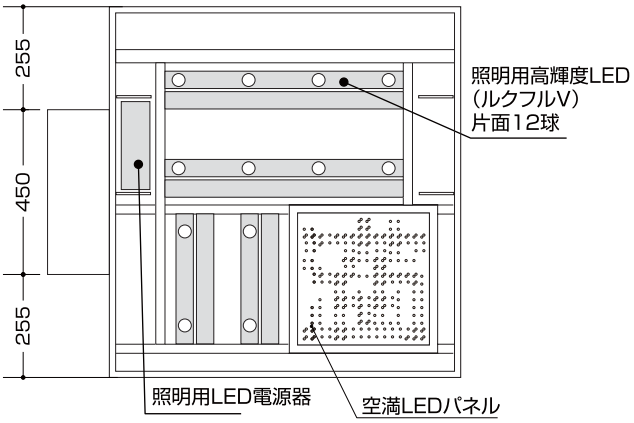
ESA4960
（LEDシングル照明仕様）

内部展開図

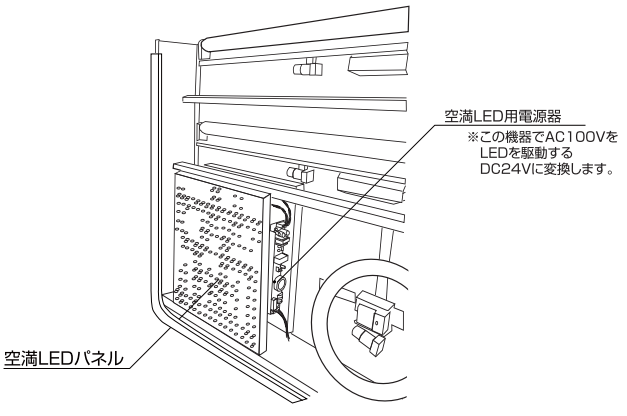


ESA5960
（LEDダブル照明仕様）

内部展開図



※空満LED電源器の位置



4 LED表示内容について

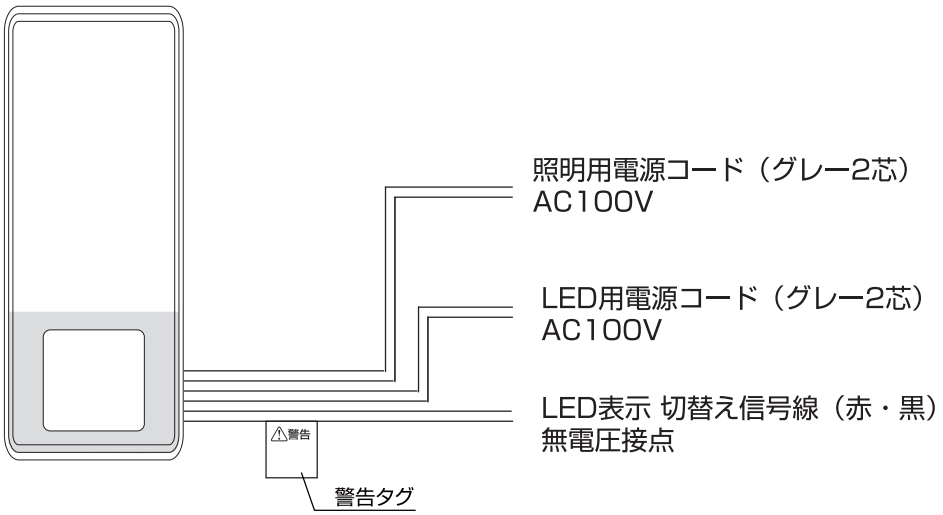
⚠ 警告
禁止 本製品のLED部分は精密部品を用いておりますので、絶対に改造等を行わないで下さい。
⚠ 注意 LED部分の異常につきましては、取扱店にお問合せ下さい。

空満パーキングサイン・グラフィック　パターン

品番末尾　　なし：グリーン(空）とレッド(満）の2色で表示します。
品番末尾　－RW：ホワイト(空）とレッド(満）の2色で表示します。
品番末尾　－WW：ホワイト(空）とホワイト(満）の単色で表示します。

5 看板から出ている配線について

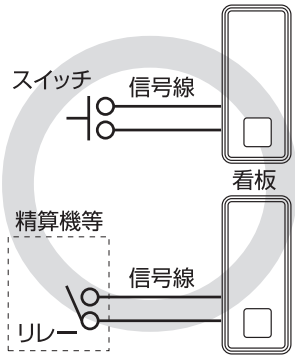
看板本体からは3系統のコードが出ています。下図を参照下さい。
(250空満パーキングα·303空満パーキングα·960角 空満パーキングα 共通)



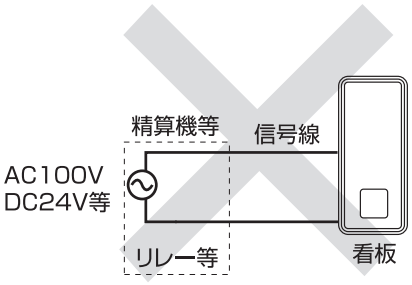
6 切替信号線について

本機は精算機等の信号により、表示切替え動作をします。
また信号は無電圧接点方式です。
24V電圧入力式の切替え方式では作動いたしませんので、ご注意下さい。

スイッチの断続状態	OFF	ON
LED表示	空	満



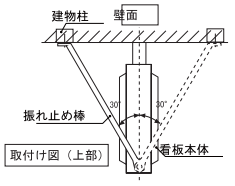
⚠ 警告　精算機の空満信号線に繋ぐ際は、無電圧信号以外はリレーが必要です。詳しくは精算機メーカにお問い合わせください。



⚠ 警告　この信号線にAC100V等の電圧を絶対に加えないで下さい。CPU及びLEDパネルの破損につながります。

7 看板の取付に際しての注意

※取付の前に必ずお読み下さい。

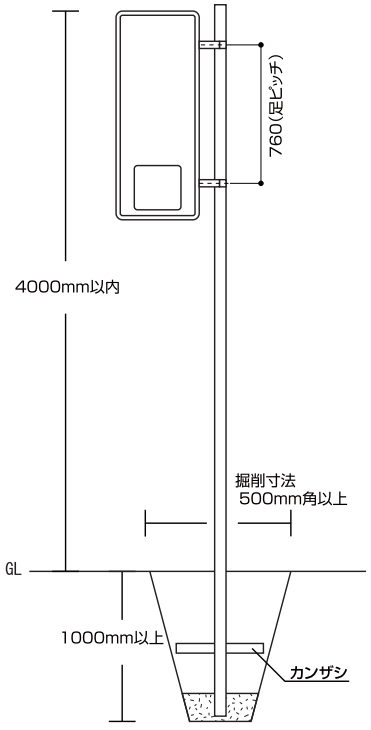
⚠ 警告	
ⓘ 確認	取付ける前に、取付場所を確認してください。宣伝効果と安全面を考慮の上、設置場所をお選び下さい。なお壁面への取付足の取り付けは、壁面を考慮し、設置場所の下地に適切な部材で施工して下さい。
ⓘ 確認	本品の取付金具は全て別売り（オプション）です。お取り付け用途に合った取付金具をお選び下さい。その際には、取付金具の同梱物が間違いないか、また全てのパーツが揃っているかお取り付け前にご確認願います。（同梱パーツリストをご参照下さい。）
⊘ 禁止	取付金具の改造は絶対にしないで下さい。 金具の剛性低下による看板本体の落下等につながり大変に危険です。
⚠ 警告	本製品の取り付け高さは、壁面取り付けの場合、看板上端にて303･960角 空満パーキングαでは地上4,000mm、250空満パーキングαでは地上5,000mmが最大です。 制限高さを超過いたしますと、風圧等の影響により面板が破損する恐れがございます。 また本製品は充分な強度を以って設計されていますが、工作物申請が出来る構造とはなっておりません。 ポール取付けに際しては看板上端が地上より4,000mm以内に収まるよう設置して下さい。
● 強制	本製品は振れ止め棒付仕様となっております。必ず振れ止め棒を設置してお取り付け下さい。振れ止め棒は横風に対する補強ですので、上から見て看板と振れ止め棒が30°以上の角度になるように取り付けて下さい。 上部1ヶ所を建物柱に取付け、原則として下部を逆方向にお取り付け下さい。 また、角端の場合は同方向で固定して下さい。 
ⓘ 確認	お取り付けに関してはボルト･ナットのゆるみ等がないか、また取り付け後に本体を揺すりぐらつき等がないかご確認下さい。

8 <参考>基礎概略図

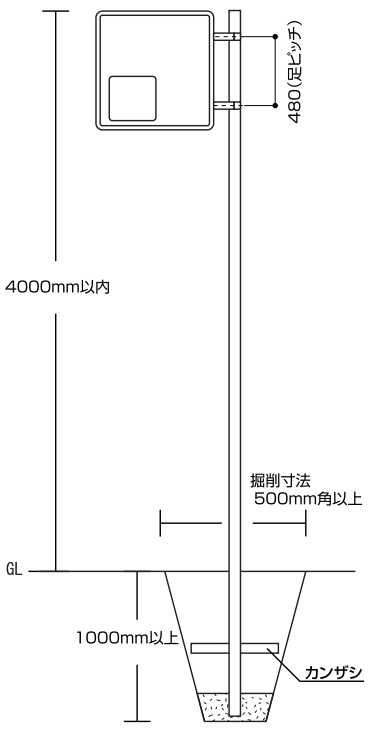
※ご不明な点がございましたら、販売店にお問合せ下さい。

⚠ 警告	
⚠ 注意	下図は標準的な長期地耐力50kN/m²(砂質土)を基に作成されています。
⚠ 注意	地中を掘削する際は埋設管等がないかご確認の上施工願います。

□250空満パーキングα



□303空満パーキングα
□960角 空満パーキングα



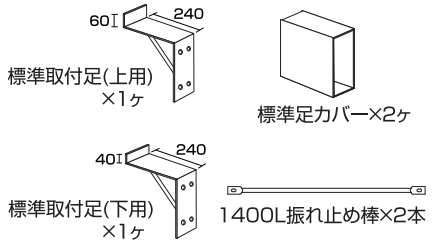
9 壁面への取付について-250空満パーキングα

※取付金具は別売りです。

壁面取付

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。
GL(地上より)5000mmが壁面取付の上限です。

K-TB610/標準足セット ※セット内容をご確認下さい



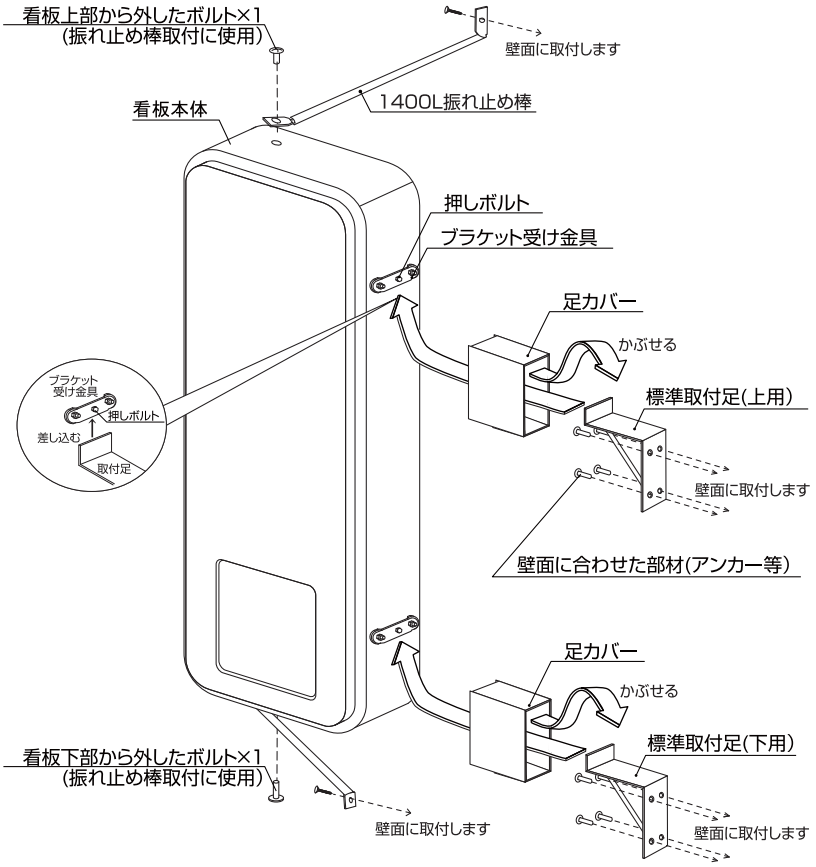
看板の取付方法

① 看板を設置する壁面に取付足をアンカー等で打ち、危険がないようにしっかり固定して下さい 。

② 取付足に足カバーをかぶせて下さい。

③ 取付足を看板側面のブラケット受け金具に差し込み、ブラケット受け金具の押しボルトを締めて、看板本体を壁面に固定します。
(上下とも同じ要領で行います。)

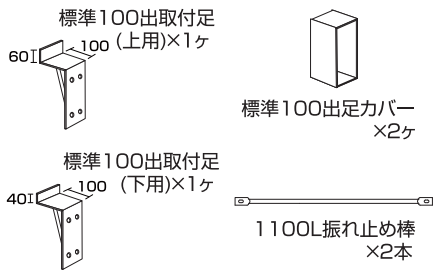
④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って振れ止め棒を看板本体に仮止めし、振れ止め棒のもう一方の端を壁面に合わせて折り曲げ、壁にアンカー止めし、固定して下さい。
その後、仮止めしたボルトをしっかりと締め込んで下さい。
看板下部にも振れ止め棒を同じ要領でお取付け下さい。ただし、下部の振れ止め棒は、看板上部の振れ止め棒と逆方向にお取付け下さい。



壁面取付

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。
GL(地上より)5000mmが壁面取付の上限です。

K-TB610-100/100出足セット ※セット内容をご確認下さい



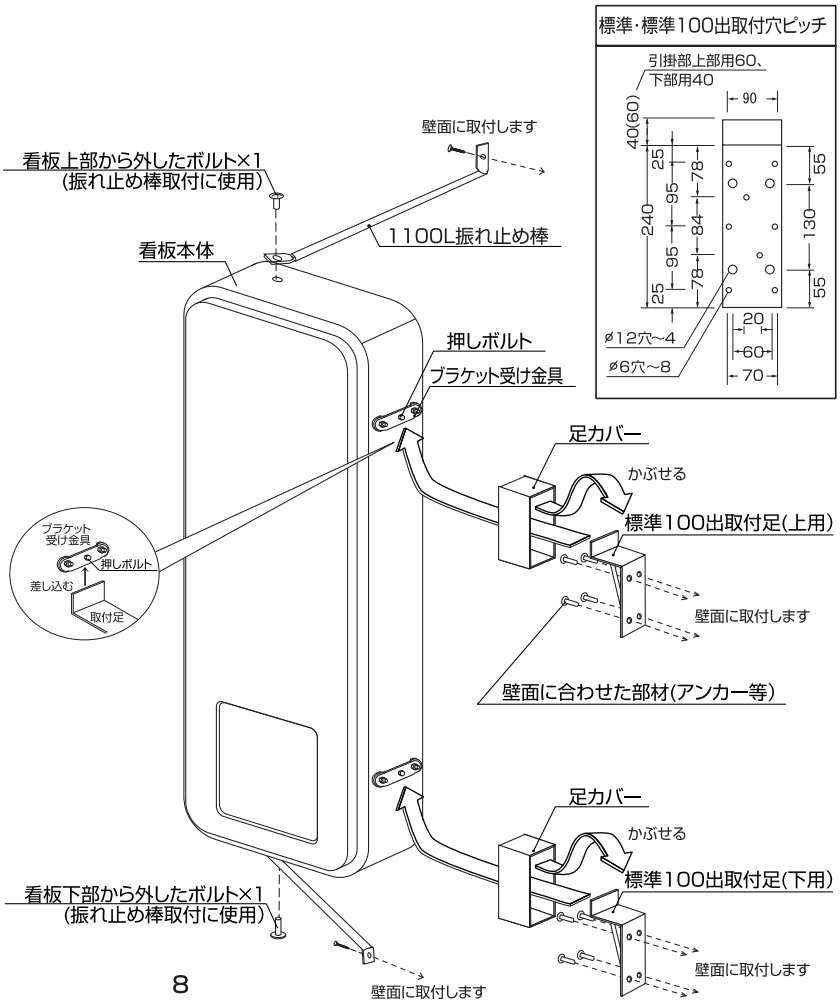
看板の取付方法

① 看板を設置する壁面に取付足をアンカー等で打ち、危険がないようにしっかり固定して下さい 。

② 取付足に足カバーをかぶせて下さい。

③ 取付足を看板側面のブラケット受け金具に差し込み、ブラケット受け金具の押しボルトを締めて、看板本体を壁面に固定します。
(上下とも同じ要領で行います。)

④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って振れ止め棒を看板本体に仮止めし、振れ止め棒のもう一方の端を壁面に合わせて折り曲げ、壁にアンカー止めし、固定して下さい。
その後、仮止めしたボルトをしっかりと締め込んで下さい。
看板下部にも振れ止め棒を同じ要領でお取付け下さい。ただし、下部の振れ止め棒は、看板上部の振れ止め棒と逆方向にお取付け下さい。

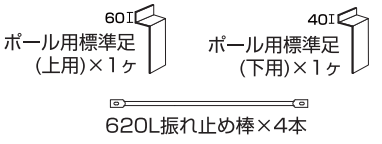


10 角・丸ポールの取付について-250空満パーキングα

※取付金具は別売りです。

角ポール取付

K-TB-KP/角ポール用標準足セット



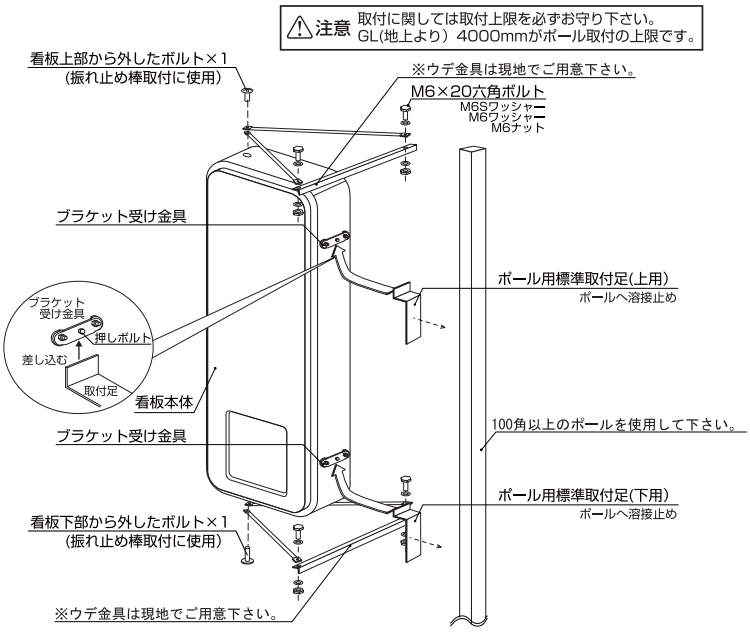
ウデ金具は現地でご用意下さい。

看板の取付方法

① 設置位置をご確認の上、看板を設置するポールに取付足を溶接して下さい。危険がないようにしっかり固定して下さい。(上下)

② 取付足を看板本体のブラケット受け金具に差し込み、ブラケット受け金具の押しボルトを締めて、看板を固定します。
(上下とも同じ要領で行います。)

③ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
看板下部も同じ要領で振れ止め棒・ウデ金具をお取り付け下さい。



角ポール取付

K-TB610-K/100角ポール用セット ※セット内容をご確認下さい

角ポール取付足×2ヶ
□付属ボルトセット（角ポール取付足用）
M6×12六角ボルト‥‥2
M8ワッシャー‥‥‥‥‥‥4
M8Sワッシャー‥‥‥‥‥4
M8ナット‥‥‥‥‥‥‥‥‥8
M8×35六角ボルト‥‥‥4

650Lウデ金具×2本

620L振れ止め棒×4本
□付属ボルトセット（振れ止め棒用）
M6×20六角ボルト‥‥4
M6ワッシャー‥‥‥‥‥‥4
M6Sワッシャー‥‥‥‥‥4
M6ナット‥‥‥‥‥‥‥‥‥4

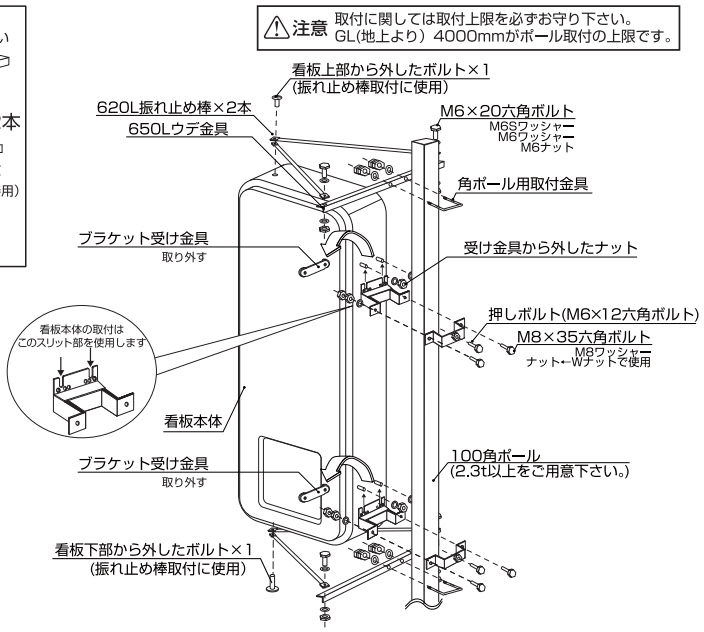
角ポール用取付金具×2ヶ
□付属ボルトセット(角ポール取付金具用)
M10ナット‥‥‥‥‥‥8
M10Sワッシャー‥‥4

看板の取付方法

① 看板側面よりブラケット受け金具を外します。
次に、看板本体に残ったボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上下)

② 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。
(上下とも同じ要領で行います。)

③ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を角ポール取付金具でポールと固定して下さい。
看板下部も同じ要領で振れ止め棒・ウデ金具をお取り付け下さい。



丸ポール取付

K-TB610-M/Φ114ポール用セット ※セット内容をご確認下さい

丸ポール取付足×2ヶ
□付属ボルトセット（丸ポール取付足用）
M6×12六角ボルト‥‥2
M8ワッシャー‥‥‥‥‥‥4
M8Sワッシャー‥‥‥‥‥4
M8ナット‥‥‥‥‥‥‥‥‥8
M8×35六角ボルト‥‥‥4

650Lウデ金具×2本

620L振れ止め棒×4本
□付属ボルトセット（振れ止め棒用）
M6×20六角ボルト‥‥4
M6ワッシャー‥‥‥‥‥‥4
M6Sワッシャー‥‥‥‥‥4
M6ナット‥‥‥‥‥‥‥‥‥4

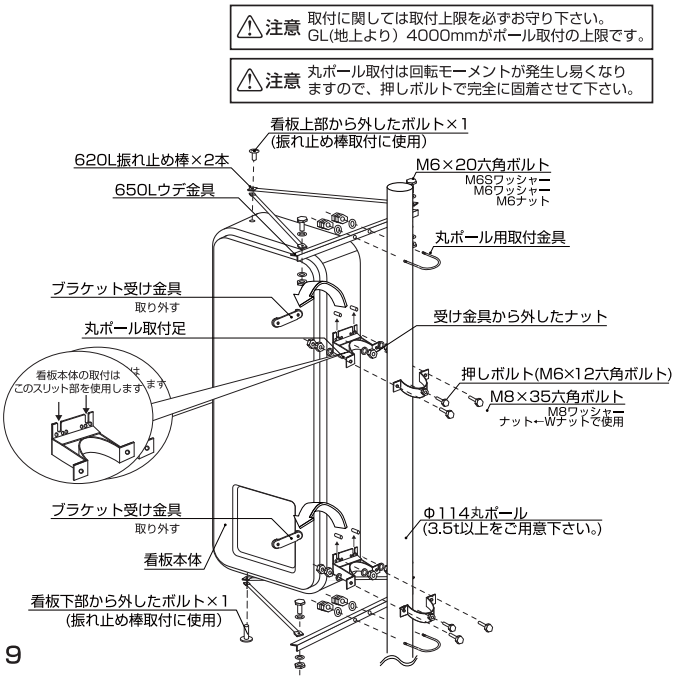
丸ポール用取付金具×2ヶ
□付属ボルトセット(丸ポール取付金具用)
M10ナット‥‥‥‥‥‥8
M10Sワッシャー‥‥4

看板の取付方法

① 看板側面よりブラケット受け金具を外します。
次に、看板本体に残ったボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上下)

② 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。
(上下とも同じ要領で行います。)

③ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を丸ポール取付金具でポールと固定して下さい。
看板下部も同じ要領で振れ止め棒・ウデ金具をお取り付け下さい。



11 看板の取付について-303空満パーキングα

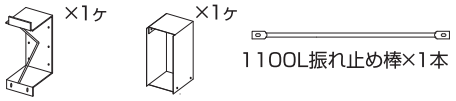
※取付金具は別売りです。

壁面取付

K-TB900/303突出し標準足セット

※セット内容をご確認下さい

標準取付足 ×1ヶ　標準足カバー ×1ヶ　1100L振れ止め棒×1本



看板の取付方法

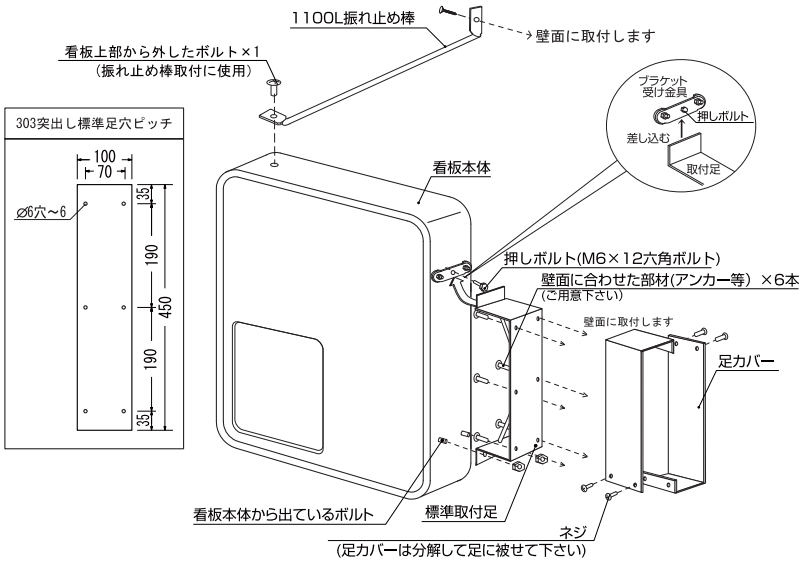
① 設置部に取付足をアンカー等で打ち、危険がないようにしっかり固定して下さい。(6ヶ所)

② 足カバーを分解して足に被せ、ネジ止めして下さい。(4ヶ所)

③ 取付足上部のツメをブラケット取付金具に差し込み、押しボルトで締めます。
次に、取付足下部のツメを看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(2ヶ所)

④ 看板上部のボルトに振れ止め棒を仮止めし、振れ止め棒のもう一方の端を壁面に合わせて折り曲げ、壁にアンカー止め止し、固定して下さい。その後、ボルトをしっかりと締め込んで下さい。

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。GL(地上より)4000mmが壁面取付の上限です。



角ポール取付

K-TB900-K/100角ポール用セット

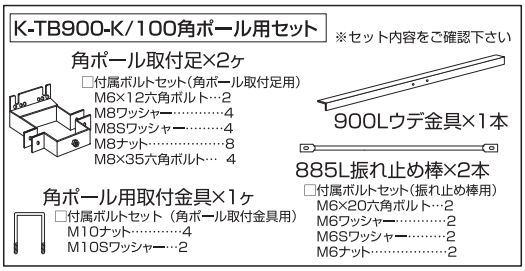
※セット内容をご確認下さい

角ポール取付足×2ヶ
□付属ボルトセット(角ポール取付足用)
M6×12六角ボルト…2
M8ワッシャー……4
M8Sワッシャー……4
M8ナット……8
M8×35六角ボルト… 4

900Lウデ金具×1本

885L振れ止め棒×2本
□付属ボルトセット(振れ止め棒用)
M6×20六角ボルト…2
M6ワッシャー……2
M6Sワッシャー……2
M6ナット……2

角ポール用取付金具×1ヶ
□付属ボルトセット(角ポール取付金具用)
M10ナット……4
M10Sワッシャー…2



看板の取付方法

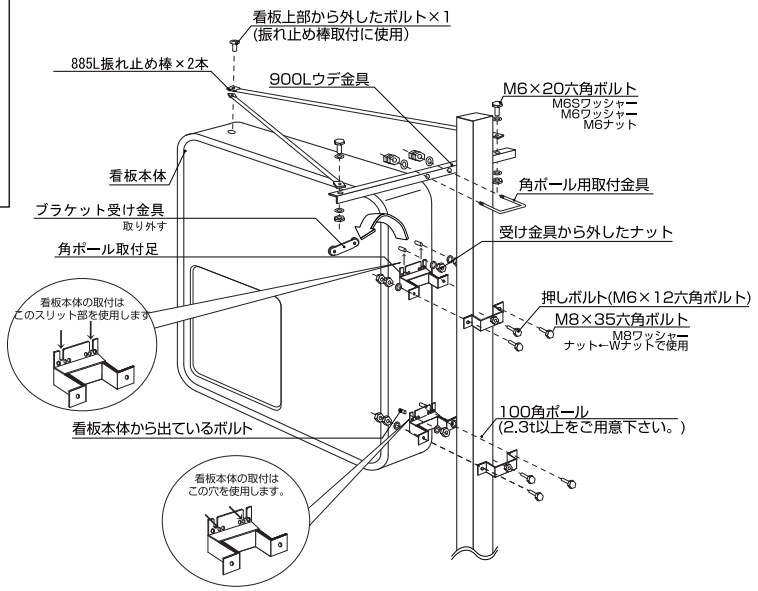
① 看板側面よりブラケット受け金具を外します。看板本体に残ったボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上部)

② 取付足を看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(下部)

③ 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。

④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を取り付け、角ポール取付金具でポールと固定して下さい。

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。GL(地上より)4000mmがポール取付の上限です。



丸ポール取付

K-TB900-M/Φ114ポール用セット

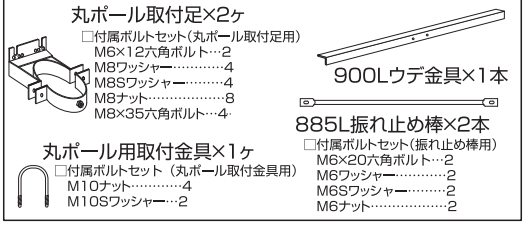
※セット内容をご確認下さい

丸ポール取付足×2ヶ
□付属ボルトセット(丸ポール取付足用)
M6×12六角ボルト…2
M8ワッシャー……4
M8Sワッシャー……4
M8ナット……8
M8×35六角ボルト…4

900Lウデ金具×1本

885L振れ止め棒×2本
□付属ボルトセット(振れ止め棒用)
M6×20六角ボルト…2
M6ワッシャー……2
M6Sワッシャー……2
M6ナット……2

丸ポール用取付金具×1ヶ
□付属ボルトセット(丸ポール取付金具用)
M10ナット……4
M10Sワッシャー…2



看板の取付方法

① 看板側面よりブラケット受け金具を外します。看板本体に残ったボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上部)

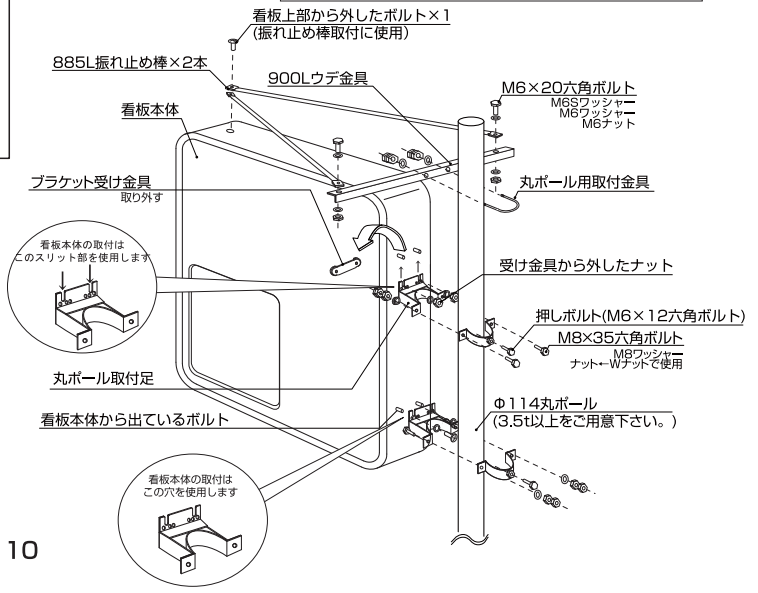
② 取付足を看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(下部)

③ 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。

④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を取り付け、丸ポール取付金具でポールと固定して下さい。

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。GL(地上より)4000mmがポール取付の上限です。

⚠注意 丸ポール取付は回転モーメントが発生し易くなりますので、押しボルトで完全に固着させて下さい。



12 看板の取付について-960角 空満パーキングα

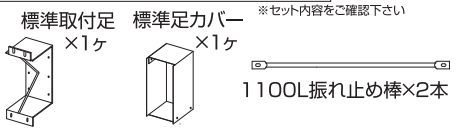
※取付金具は別売りです。

⚠注意 取付に関しては取付上限を必ずお守り下さい。
GL(地上より)4000mmがポール取付の上限です。

壁面取付

K-TB960/960角 突出し標準足セット

※セット内容をご確認下さい



看板の取付方法

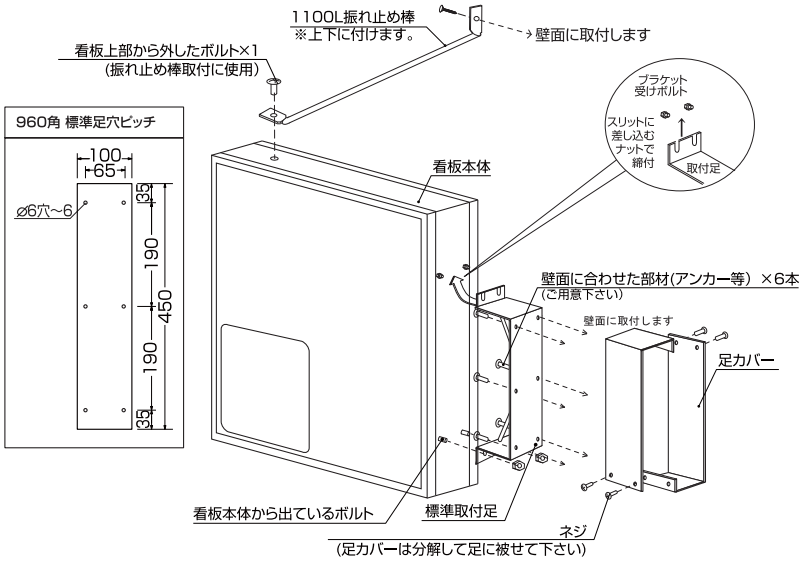
① 設置部に取付足をアンカー等で打ち、危険がないようにしっかり固定して下さい。(6ヶ所)

② 足カバーを分解して足に被せ、ネジ止めして下さい。(4ヶ所)

③ 取付足上部のツメをブラケット取付金具に差し込み、押しボルトで締めます。
次に、取付足下部のツメを看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(2ヶ所)

④ 看板上部のボルトに振れ止め棒を仮止めし、振れ止め棒のもう一方の端を壁面に合わせて折り曲げ、壁にアンカー止め止し、固定して下さい。その後、ボルトをしっかりと締め込んで下さい。

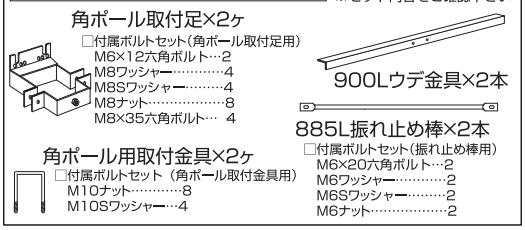
⚠注意 開閉したい面の逆側に振止め棒をつけます。
(振止め棒が付いている側の面は開閉できません)



角ポール取付

K-TB960-K/100角ポール用セット

※セット内容をご確認下さい



看板の取付方法

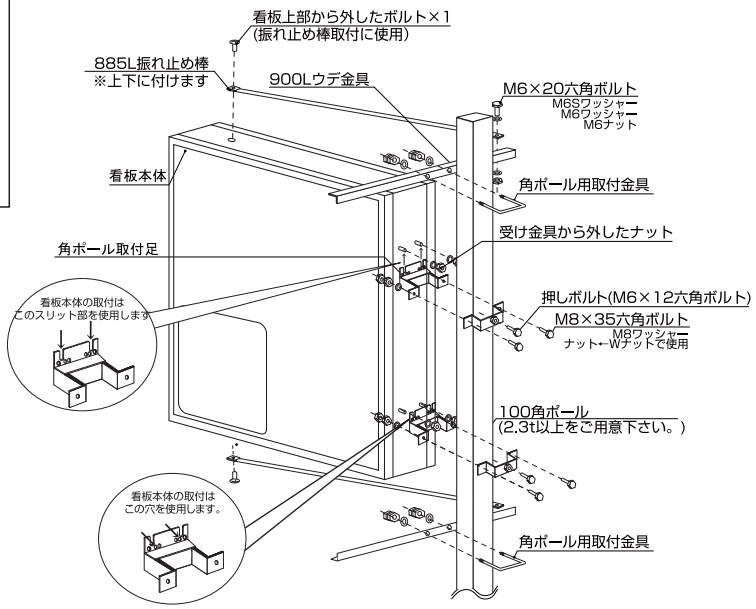
① 看板本体のボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上部)

② 取付足を看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(下部)

③ 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。

④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を取り付け、角ポール取付金具でポールと固定して下さい。

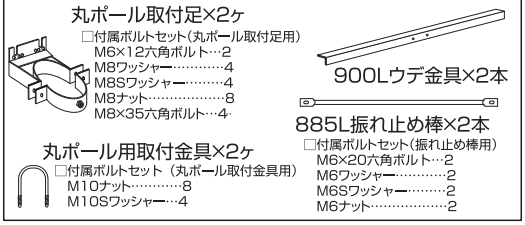
⚠注意 開閉したい面の逆側に振止め棒をつけます。
(振止め棒が付いている側の面は開閉できません)



丸ポール取付

K-TB960-M/Φ114ポール用セット

※セット内容をご確認下さい



看板の取付方法

① 看板本体のボルトに取付足のスリット部を差し込み、付属のワッシャーと受け金具のナットで取付足を固定します。(上部)

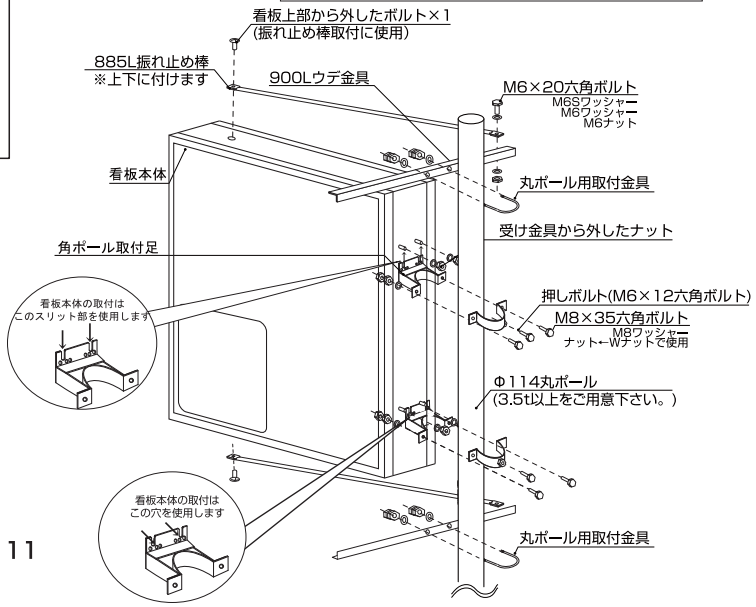
② 取付足を看板本体から出ているボルトに通し、ナットで締めて下さい。(下部)

③ 看板の設置位置を決め、取付足でポールと看板本体を固定し、押しボルトで固着させます。

④ 看板上部のボルトを外し、そのボルトを使って看板本体に振れ止め棒を取り付けます。
次にウデ金具を取り付け、丸ポール取付金具でポールと固定して下さい。

⚠注意 開閉したい面の逆側に振止め棒をつけます。
(振止め棒が付いている側の面は開閉できません)

⚠注意 丸ポール取付は回転モーメントが発生し易くなりますので、押しボルトで完全に固着させて下さい。

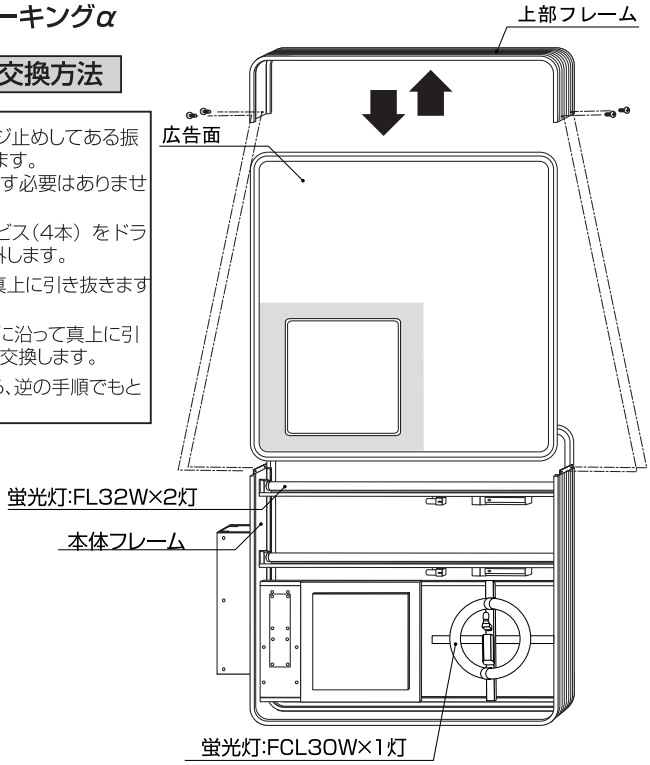


13 面板と蛍光灯の交換について

※面板と蛍光灯の交換は取扱店にお問合せ下さい。
または、専門業者にご依頼下さい。

⚠ 警告	
⚠ 注意 アクリル板は壊れ易い為、扱いには充分注意して下さい。怪我や破損の恐れがあります。	❗ 強制 蛍光灯と併せてグロー球も取替えて下さい。
⚠ 注意 蛍光灯の交換や器具清掃時には電源を切って冷めてから行って下さい。火傷や感電の恐れがあります。	❗ 強制 出荷時は予め地域の周波数に合わせてあります。他の地域での使用は出来ません。

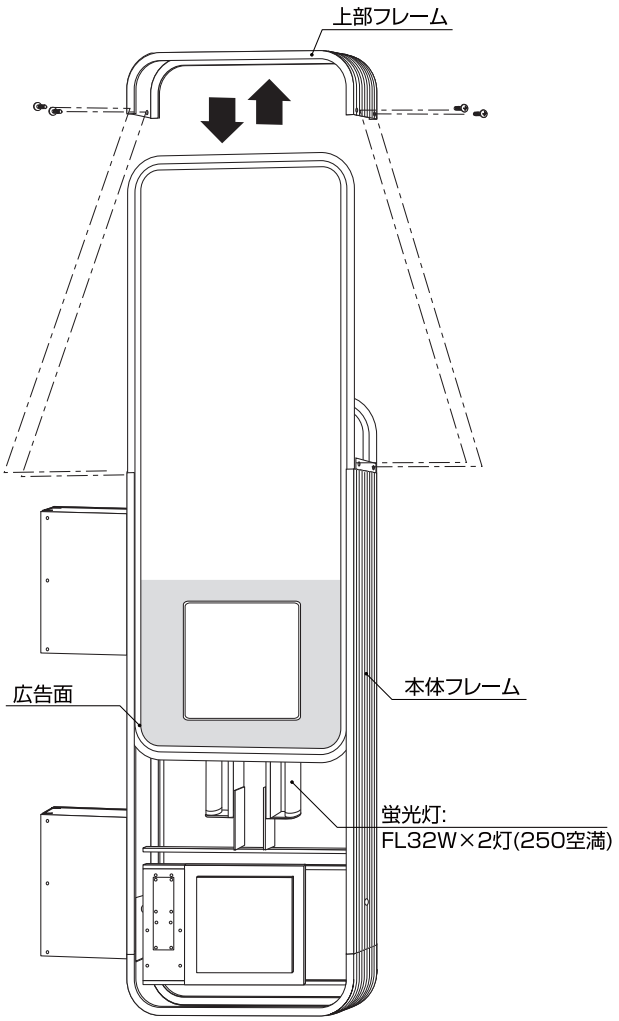
□303空満パーキングα



蛍光灯の交換方法

① 看板上部からネジ止めしてある振れ止め棒を外します。
(壁面側は取り外す必要はありません。)
② 本体側面両側のビス(4本) をドライバー等で取り外します。
③ 上部フレームを真上に引き抜きます
④ 広告面をスリットに沿って真上に引き抜き、蛍光灯を交換します。
⑤ 交換が終わったら、逆の手順でもとに戻します。

□250空満パーキングα



蛍光灯の交換方法

① 看板上部からネジ止めしてある振れ止め棒を外します。
(壁面側は取り外す必要はありません。)
② 本体側面両側のビス(4本) をドライバー等で取り外します。
③ 上部フレームを真上に引き抜きます
④ 広告面をスリットに沿って真上に引き抜き、蛍光灯を交換します。
⑤ 交換が終わったら、逆の手順でもとに戻します。

13 面板と蛍光灯の交換について(つづき)

※面板と蛍光灯の交換は取扱店にお問合せ下さい。
または、専門業者にご依頼下さい。

⚠ 警告	
⚠ 注意 アクリル板は壊れ易い為、扱いには充分注意して下さい。怪我や破損の恐れがあります。	❗ 強制 蛍光灯と併せてグロー球も取替えて下さい。
⚠ 注意 蛍光灯の交換や器具清掃時には電源を切って冷めてから行って下さい。火傷や感電の恐れがあります。	❗ 強制 出荷時は予め地域の周波数に合わせてあります。他の地域での使用は出来ません。

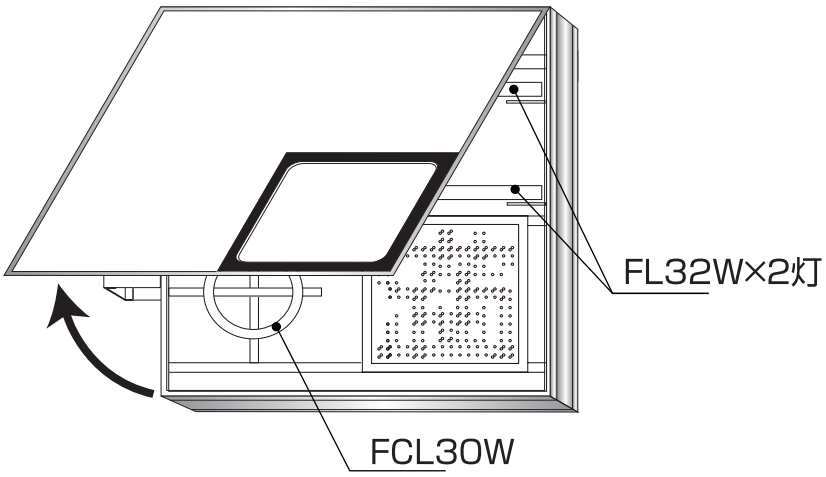
□960角 空満パーキングα

蛍光灯の交換方法

① 開閉したい枠のパッチン錠を2箇所外します。(パッチン錠は看板下部にあります)
開閉枠はステーで保持できます。

② 蛍光管とグローを交換します。

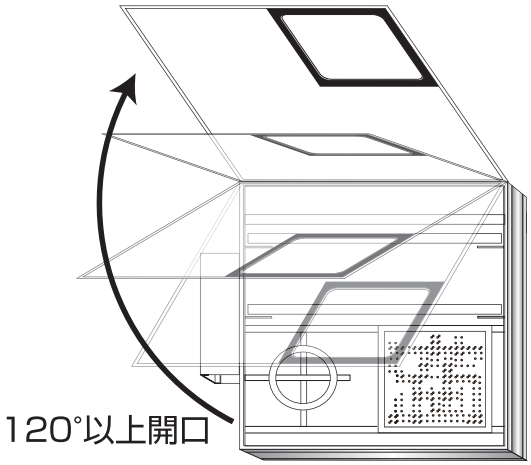
③ 交換が終わったら、逆の手順でもとに戻します。



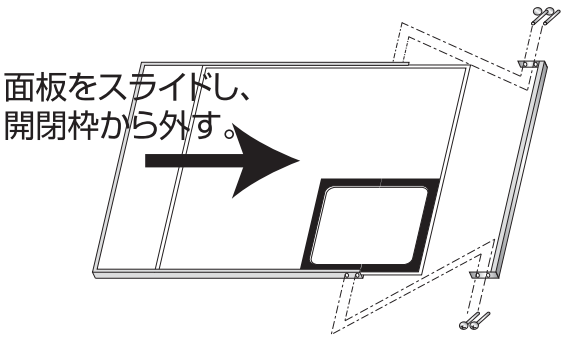
下部のパッチン錠を2箇所外します。

面板の交換方法

開閉枠を上に120°以上開けると、
開閉枠が本体枠から外れます。



開閉枠のビスを4箇所外すと、
開閉枠の一辺が外れます。
外した方向に面板を引き抜きます。



ビスを外す。(4箇所)

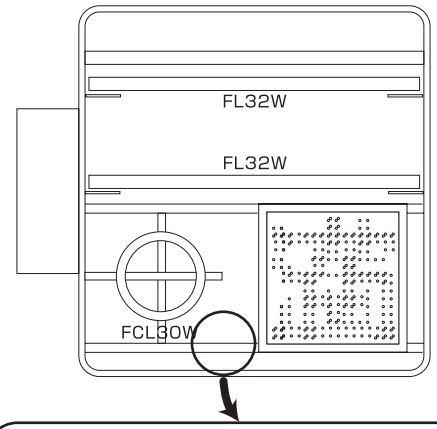
14 減光機能をお使いになるには

本機は空満LED表示の減光機能をお使いになれます。

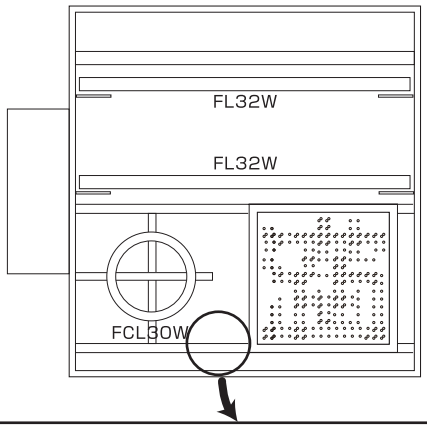
減光機能は夜間など、文字のギラつき･ハレーションなどを解消し、
より省エネにも寄与する機能です。

減光機能をお使いになるには、サイン内部の減光切替線を結線延長して頂く処置が必要となります。減光機能をお使いにならない場合は、このページを飛ばして読んでいただいて構いません。

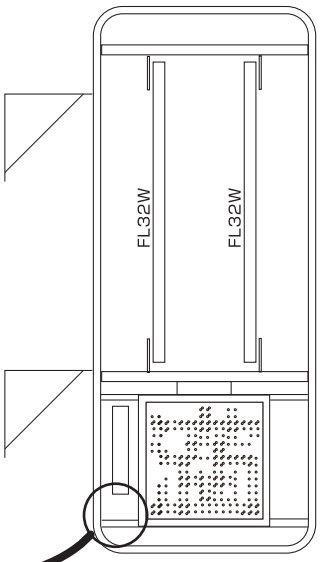
303空満パーキングα
内部展開図



960角 空満パーキングα
内部展開図



250空満パーキングα
内部展開図



各種配線と一緒に、減光切替線が2本、
サイン内部で束ねられております。
（タグがついています）

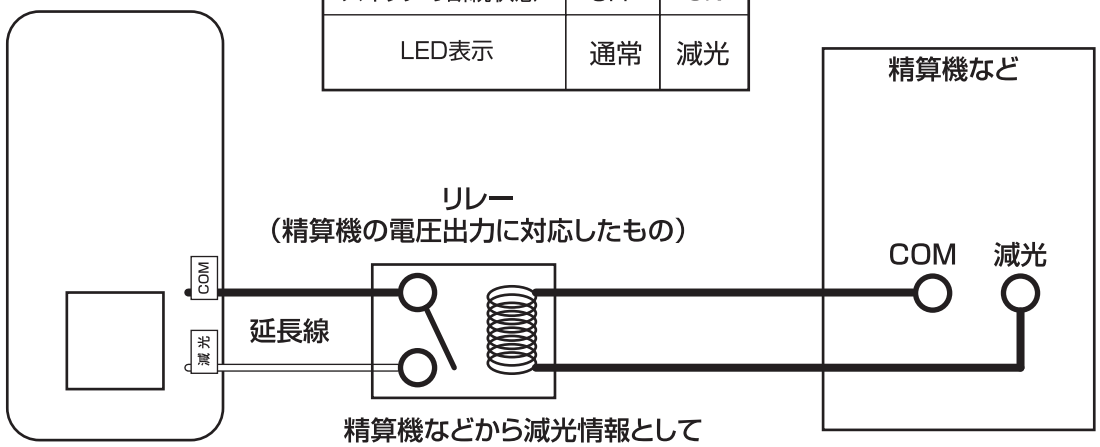
⚠ ポ イ ン ト

図は蛍光灯仕様(品番3000番台)のものですが、
広告面LED仕様(品番4000･5000番台)も
同じ位置に束ねられております。

上記2本の減光切替線をVFF1.25sq以上の電線（ご用意ください）で延長結線してください。

結線例

スイッチの断続状態	OFF	ON
LED表示	通常	減光



⚠ 警告 この減光切替線にAC100V等の電圧を絶対加えないでください。
LEDパネルの破損につながります。

15 こんなときは…トラブルシューティング

⚠ 警告

禁止 危険です。修理はご自分でしないで下さい。

看板設置後に異常が発生した場合は使用を停止して下さい。
破損、漏電などの原因で、人身事故や火災などの事故の発生が予測されます。
事故の発生を未然に防ぐために取扱店までご連絡下さい。

症状	原因と対処方法
空満パネルの表示が薄い	空満電源器の寿命、もしくは何らかの不具合に伴う出力低下が考えられます。 →空満電源器交換の処置となります。
空満パネルが点灯しない	空満LEDユニットに向かう配線の断線・不良、 もしくは空満電源器が完全に故障しています。 →まず断線していないか確認して下さい。 断線でない場合は空満電源器の交換となります。
LED表示 『空』『満』が切り替わらない (減光しない)	信号線が断線している。 →信号線が断線していないか確認して下さい。
	信号線の仕様が違う →切り替え信号線は無電圧接点式でなければ、 切り替え動作が出来ません。 信号線の接続先の精算機等の仕様を確かめて下さい。
FL/FCL(蛍光灯)照明が点灯しない (品番:ESA3000番台)	蛍光灯もしくはグロー球が切れている。 →蛍光灯もしくはグロー球の交換の必要があります。 蛍光灯もしくはグロー球がホルダーから外れている。 →蛍光灯もしくはグロー球を完全にセットする必要があります。 蛍光灯への配線が断線している。 →蛍光灯への配線が断線していないか確認必要があります。
LED照明が点灯しない (品番:ESA4000番台・ESA5000番台)	照明用電源器もしくはLEDの故障が考えられます。 →販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●製造元

三和サインワークス株式会社

東京営業部 〒108-6030 東京都港区港南2丁目15-1(品川インターシティA棟30F) TEL(03)5783-3001(代) Fax(03)5783-3010(代)

大阪営業部 〒530-0001 大阪市北区梅田3丁目1-3(ノースゲートビルディング16F) TEL(06)6453-3002(代) Fax(06)6453-3022(代)

福岡営業所 〒812-0857 福岡市博多区西月隈3丁目2-13 TEL(092)472-7277(代) Fax(092)472-7278(代)

京都工場 〒610-0261 京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷1-44 TEL(0774)99-7702(代) Fax(0774)99-7712(代)

埼玉工場 〒358-0014 埼玉県入間市宮寺字宮ノ台4030（武蔵工業団地内） TEL（04)2934-5311(代) FAX（04)2934-5313(代)

つくば工場 〒300-0198 茨城県かすみがうら市加茂5289-1 TEL(029)828-1615（代） FAX（029)828-1289（代）

ホームページアドレス
http://www.sanwa-signworks.co.jp/

メールアドレス
info@sanwa-signworks.co.jp

2012.04(rev.2)